

SUNSHINE

第 68号 2012年 12月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

今回、ご紹介させていただくマンションは、薬師2丁目にあります「トーカンマンション薬師」というマンションです。閑静な住宅街でありながら、鹿児島中央駅にも天文館にも近いのでとても便利な場所にあります! 間取りは4タイプあり、一人暮らしの方におすすめのワンルーム・1DKタイプ。新婚さんやファミリータイプに人気の2LDK・3LDKタイプになります。マンションには、システムキッチンやエレベーターなどの設備のほかに、オートロックなどのセキュリティーも備わっていますので女性や小さなお子さんにとっても安心です(^_^)

共用部分なども、定期的に清掃を入れていただいているので、建物はいつも清潔を保っています。

ご入居様が安心して快適に生活できるようにオーナー様の気配りが感じられます。

現在は、1DKタイプのお部屋が1室のみ空室になっております。、少し広めのお部屋をお探しの方にオススメです☆



～守屋の遺跡探訪～ ④ 福岡研修～

先月の20日に大東建託さんの研修会に賃貸営業の永吉と二人で参加させて頂きました。20日の朝5時半の高速バスに乗りましたが二人ともぐっすり寝て気がついたらずで福岡でした。バスを降りたらさすがに鹿児島と違い寒いので「何故、コートを持ってこなかった…」と自分を責めてました。天神バスセンターから会場の「ホテル ニューオータニ」まで歩いて向かったのですが、街並みが変わって寂しい様なウキウキする様な変な気持ちでした。そう! 私は福岡の大学を卒業しているので8年くらい前まで福岡に住んでいたのです! 会場につくと九州各県から社長さんや営業の方がたくさん来ていてビックリしたのですが、「ここで負けてはいけません」と思い気丈に振舞っていました(笑)(後で考えると変なプライドですね(涙))ただ、その数分後には寂しい気持ちでいっぱいになりました。なんと、研修会に来ていた鹿児島の他業者さんと永吉が話を始めたではありませんか!! 私は売買担当...研修会に来ている人のほとんどが賃貸担当...面識ありません(涙)その後知り合いの業者さんを見つけて安心したんですけどね(笑)受付を済ませて会場内に入るとさらに大勢の人(汗)大東建託さんすごいなあと思いました。研修の中で私が心に残っている事は『賃貸住宅は平安時代からスタート』と『地域とのつながりについて』です。簡単にまとめますと「お金は使えば自分に返ってくる。会社で得た利益を地域貢献に役立てたら、その地域は潤い、活気が出て人が集まり、そこから自分の会社の売上げが生まれ、利益が上がる」というお話でした。約2時間の研修の後は懇親会で立食パーティーがありました♪私? ええ、昼間からビールを呑んじゃいました(笑)知り合いの社長さんから注がれたので仕方なく... (笑)懇親会の中で大抽選会があり、永吉と二人で自分の番号を見ながらドキドキしてましたら、見事!! 何も当たりませんでした(涙)鹿児島からは何人か豪華商品を獲得してたのに...。無事に(?)研修会も終わりほろ酔い気分で本日の宿に行き、私の同級生のAIに会いに箱崎まで行き、お客様を紹介してもらったお礼と福岡のマンション事情について軽く話しました。まあ、大半は昔話でしたけど(笑)その日の夜は永吉は友人と会う約束をしていたので私は大学の時の先輩と久しぶりに会いました。「他の先輩も呼ぼう」という話になり、いろいろ電話をかけたのですがみんなの返事は同じ「せめて2日前に連絡しろ! このバカチン!」でした(涙)誰も来てくれませんでした(笑)久しぶりに話す相変わらずみんな優しい(笑)次は前もって連絡します♪結局先輩と二人で呑んで、きがついたら2時(汗)楽しい時間はあっ!と言う間に過ぎますね。昔話を肴に呑んでいると大学時代に戻った気がしてついムチャしてしまいました(笑)

為になる話も聞けたし、久しぶりに友人、先輩と会えたのでとても有意義な2日間を過ごせました♪

今回も私の他愛の無い話を最後までお読み頂きまして誠にありがとうございます。

また機会があれば書かせて頂きます。

次は「遺跡探訪」を書きたいと思います♪ネタ探しをしながら(汗)(笑)[守屋]



カラオケPUB ケセラセラ



今回ご紹介させていただく『カラオケPUB ケセラセラ』さんは、きしゃば電停から徒歩3分ビルの5階にあります。今回、お店を開かれるに際しましてお店の近くのお部屋を探されており、弊社でマンションのお部屋をご紹介させていただきました。お部屋を借りていただきました八代様は、サラリーマンを退職され、お店をされているとのことでしたが、初めからお店をしたいと思われていたわけではなく、ご縁があって今のお店をされているとのことでした。八代様はお酒が好きで、お店をされる以前からお酒を集められていたとのこと。特にワインは大好きで、色々な種類のワインを収集されているとのことでした。今回、お邪魔させていただいた際には、美味しい日本酒を飲ませていただきました。

お店は、男性が2,000円、女性が1,500円で飲み放題になっておりまして、カラオケも歌い放題となっております。

ちなみに、お昼は1,000円(安い!!)となっておりますので、遊びに来て下さいね～八代様より...

鹿児島市下荒田3丁目27-12
 キヤバステーションビル5F

電話 099-254-1303

営業時間 13:00~17:00 18:30~24:00



今月の一冊 No.67 アゴタ・クリストフ

悪童日記・ふたりの証拠・第三の嘘



戦争が激しさを増し、双子の「ぼくら」は、小さな町に住むおばあちゃんのもとへ疎開した。その日から、ぼくらの過酷な日々が始まった。人間の醜さや哀しさ、世の不条理...非常な現実を目にするたびに、ぼくらはそれを克明に日記にする。戦争が暗い影を落とすなか、ぼくらははたまたかに生き抜いていく。人間の真実をえぐる圧倒的筆力で読書界に感動の嵐を巻き起こした、ハンガリー生まれの女性亡命作家の衝撃の処女作。

戦争は終わった。過酷な時代を生き延びた双子の兄弟の一人は国境を越えて向こうの国へ。一人はおばあちゃんの家がある故国に留まり、別れた兄弟のために手記を書き続ける。厳しい新体制が支配する国で、彼がなにを求め、どう生きてかかを伝えるために...強烈な印象を残した『悪童日記』の待望の続編。主人公と彼を取り巻く多彩な人物の物語を通して、愛と絶望の深さをどこまでも透明に描いて全世界の共感を呼んだ話題作。



ベルリンの壁の崩壊後、双子のの一人が何十年ぶりに、子供の頃の思い出の小さな町に戻ってきた。彼は少年時代を思い返しながら、町をさまよひ、ずっと以前に分かれたままの兄弟をさがし求める。双子の兄弟がついに再会を果たしたとき、明らかにされる事実と嘘とは? 『悪童日記』と『ふたりの証拠』で全世界の読書界に衝撃と感動を与えたアゴタ・クリストフの連作は、本書をもって完結し、奇跡の三部作の全構造が明らかになる。

アゴタ・クリストフは1935年ハンガリー生まれ。1956年のハンガリー動乱の折に西側に亡命して以来、スイスのヌーシャテル市に在住していたが、昨年2011年7月に死亡。

1986年にパリのスユ社から世に送り出したフランス語の処女小説『悪童日記』によって一躍脚光を浴びた。その後、続編にあたる『ふたりの証拠』(88)、『第三の嘘』(91)を発表して三部作を完成させ、力量のある第一級の作家としての地位を確立した。これらの作品は世界20か国以上で翻訳され、数多くの熱心な読者を獲得した。中でも、日本では1991年に『悪童日記』が翻訳されると、読書界に衝撃と感動の渦が巻き起こり、多くの文学者・作家・評論家から絶賛の声が寄せられた。1995年には著者自身が来日し、アゴタ・クリストフ・ブームが盛り上がり、クリストフ作品は1990年代にもっとも大きな反響を呼び成功した海外文芸となった。

今年最後に取り上げるのは、重厚で読み応えのある作品です。著者紹介にもあるように世界中で絶賛され、大きな反響を呼びました。三部作といいながら、完結に向かう訳ではなく、謎が解ける訳でもなく、何度も何度も反芻するように読み返したくなります。第2次世界大戦やハンガリー動乱といった社会情勢が背景にあり、作者自身の体験も大きく影響しているようです。母国語(ハンガリー語)では無い言語(フランス語)で書かれているのも驚きです。かつて出会ったことの無い小説で、読むほどに迷宮に迷い込む感じがします。